

2019年度重点目標・結果(2019年4月1日～2020年3月31日)及び2019年度対策案

<基本情報>

1. 学生数(2019年4月時点)

学科名	1年生		2年生		総計	
	男	女	男	女	男	女
ペットプロデュース学科	1	30	1	23	2	53
	31		24		55	

※2017年度:85名、2018年度:74名

2. 教職員数

学校長	1名(兼務)	非常勤講師	15名
部長	1名(兼務)	広報	2名(1名は兼務)
教務	3名	事務	2名(兼務)

<重点目標結果・検証及び次年度目標>

1. 休退学者の削減

	学生数	退学数	休学数	目標率	結果	達成率	目標数
全体退学率	74	1	0	2.70%	1.35%	199.8%	2

※2016年度:3.8%、2017年度:4.7%

[退学理由]

1年生 0名

2年生 1名/進路変更

[検証・次年度対策等]

退学者は、進級前に行った面談では意欲を持って取り組みたいという意向であったが、進級後まもなく遅刻欠席が目立ち、無連絡での欠席が続いた。担任だけではなく、他の専任教員を含めて状況の把握や今後の取り組みなど話し合いを行ったが、実習に対する意欲がなくなり、勤めていたアルバイト先への就職を希望していたことから退学となった。

- ① 新入生との面談を入学後すぐに行い目的意識の度合いを早期に把握しその都度対策を検討する。
- ② 業界人講話、卒業生講話を通して業界の魅力を伝え、進路変更を防ぐ
- ③ 出席率が低下してる学生と担任だけではなく他職員も関わりを持ち、都度対応した際の情報を共有し、効果ある指導を行う

◎次年度目標⇒1.66% 在学生数60名に対して1名目標

2. 就職(2019年4月1日現在:最終)

	就職希望者に対する数字			卒業数	就職希望数	決定数	卒業生数に対する就職率
	目標	結果	達成率				
総合就職率	100.0%	95.2%	95.2%	42	42	40	95.2%
専門職就職率	95.3%	92.8%	97.4%			39	92.9%
就職対象外率	4.8%	0.0%					

※2016年度 <総合就職率>97.2% <専門職就職率>83.7%

※2017年度 <総合就職率>97.3% <専門職就職率>94.6%

[検証・次年度対策等]

①個人面談を毎月実施

意識・目標・モチベーションの変化を見逃さず適切な指導を実施する。また、学生個々の意識を明確にする為にも短いスパンで就職希望調査を複数回とする

②内定辞退者を減少させる

早期実習に出る時期の調整を行い、後期以降徐々に日数を増やしていく。(実習先との調整が必要)

◎次年度目標 卒業予定者31名
⇒総合就職率100%、専門職就職率96.8%(30名以上)
対象外率3.2%(1名以内)

3. 授業満足度アンケート(年2回科目単位で学生が評価<4点満点>)・・・質問項目別紙参照
(目標は専任教員のアンケート集計表における評価B<施設や学生の取り組み除く>の数字)

目標	結果	達成率
3.78	3.94	104.2%

※2016年度:4.57点、2017年度:4.84点、(2017年度までは5点満点)

[検証・次年度対策等]

①出席率低下を防止

担任以外の職員とも面談の機会を設け、学校全体で関わり出席率の向上を図る

②B評価4.7以下の講師と面談・授業参観の実施

6月に参観を実施、新アンケートで学生から中間アンケートを取った結果を基に面談を行い、面談後再参観を実施する

③中間アンケートの実施

新アンケートをもとに中間アンケートを実施し、問題点を解決していく

◎次年度 ⇒ 卒業時アンケートに集約

4. 学校満足度アンケート(年1回、学生が評価<5点満点>)・・・質問項目別紙参照

目標	結果	達成率
4.65	4.89	105.2%

※2016年度:4.56点、2017年度:4.73点、

[検証・次年度対策等]

①2年生は、アンケート結果が他よりも低くなった部分を面談時に確認し対策を練る(4月実施)

②1年生は学校及び実習を不安なく過ごすためのポイント説明を2年生から受ける(4月実施)

③両学年とも学校生活について不安や不満などが無いかな問題の抽出を早期に確認するための面談を行う(4月実施)

④両学年で聞き取り式の独自アンケートを実施し、問題の抽出と対策を練る(6月、9月実施)

◎次年度 ⇒ 卒業時アンケートに集約